

英米法研究会記事

○第四四回研究会 ホテル水明館

一九八八年三月九日(水)午後六時三〇分
「オーストラリア憲法改正の内容」

報告者 萩野 芳夫(南山大学)
出席者 十名

○第四五回研究会 法学部大会議室

一九八八年四月二七日(水)午後五時
「国家間取引に於ける問題点」

「カナダの裁判権を中心に」
報告者 縦木 貞雄(中京大学)
出席者 六名

○第四六回研究会 法学部大会議室

一九八八年五月二五日(水)午後五時
「英米における紛争の解決」

報告者 越川 純吉(中京大学)
出席者 七名

○第四七回研究会 法学部中会議室

一九八八年六月二九日(水)午後六時
「イギリスの都市環境と人々の生活環境」

報告者 松本 昌悦(中京大学)
出席者 八名

○第四八回研究会 法学部大会議室

一九八八年七月二〇日(水)午後五時
「弁護士市場の開放問題—東西の比較—」

報告者 石堂 功卓(中京大学)
出席者 九名

○第四九回研究会 法学部大会議室

一九八八年一〇月二九日(水)午後六時
「英国の少年司法と児童少年の権利」

報告者 木村 裕三(名城大学)
出席者 十名

○第五〇回研究会 シーサイドプリンス

一九八八年一〇月二九日(水)午後五時
「イギリスにおけるプレスの自由と裁判所屈辱法」

報告者 加藤 紘捷(駿河台大学)
出席者 十名

○第五一回研究会 法学部大会議室

一九八八年一一月九日(水)午後五時
「Loco Parentisの親子法理について」

報告者 本城 武雄(名城大学)
出席者 七名

○第五二回研究会 法学部大会議室

一九八九年一月二五日(水)午後五時
「オーストラリアの移民と法」

報告者 萩野 芳夫(南山大学)
出席者 六名

中京大学法学部講演会記事

一九八八年度講演会記事 法学部九二三番教室

一九八八年一〇月一八日(火) 午後二時

「今、世界の女性達は」

—女性弁護士の立場から—

大脇雅子氏

中京大学大学院法学研究科

昭和六十三年年度博士後期課程単位取得論文題名

森 直樹 監督過失と信頼の原則

昭和六十三年年度修士論文題名

木全 美千男 合併と株式交換に関する一考察

— Model Business Corporation Act (1984) を中心として —

高林 宏至 使用者責任

水谷 真司 株式相互保有に関する一考察

藪本 裕信 小規模閉鎖的会社の閉鎖性の維持と投下資本の回収

山田 耕三 競業禁止義務についての一考察

— 会社の機会の理論 —

米川 敬子 取締役の競業禁止義務について

横井 和彦 遺産分割における相続人の寄与分について

横井 徹 不法行為における損害の帰責基準について

若山 昌美 損害賠償請求権の相続について

中京大学法学部昭和六十三年卒業論文題名一覧

愛知ゼミナール (刑事法)

相沢明義	恐竜絶滅に関する一考察
阿部昌弘	自殺について
安藤興志	マルチ商法の背景
岡村浩二	犯罪報道の問題点
加藤伸康	戦後構造汚職
木村茂雄	速度違反取締りの合法性
源馬正則	イラン・イラク戦争
小松原睦生	借家紛争における立退料
近藤謙次郎	同和問題
沢田昌二	冤罪をなくすために
島宏彰	坂本龍馬論
末石宗一郎	再審における証拠について
菅野健治	冤罪事件にみる自白の構造
町里智樹	核則問題について

松永真也	犯罪報道の犯罪性
守屋新一郎	悪徳商法をめぐる諸問題
越野靖彦	日米自動車産業の結実
近藤浩	コンピュータ犯罪と刑法改正
松永弘一	名古屋都市再開発

家崎ゼミナール (民法)

池田浩二	有責配偶者からの離婚請求
磯部光孝	内縁の妻の氏の変更の可否
木全政人	相続財産の範囲
小林晃	有責配偶者の離婚請求
小出聡	内縁の不当破棄
三枝徳夫	内縁の不当破棄

佐野雅彦	重婚的内縁関係における諸問題
柴清高	内縁の不当破棄
田川彰彦	有責配偶者からの離婚請求
田中良典	婚姻の成否
近松禅太郎	有責配偶者に離婚が認められる時
土田英威	夫婦財産制
長岡修	慰謝料請求権の相続性
西村譲治	有責配偶者からの離婚請求
西村義隆	婚約の成否
牧村博文	認知請求の訴と親子関係の証明
三木隆博	離婚による財産分与について
物部邦一	婚姻の無効と追認
森本靖徳	婚姻予約の成否
米沢和晃	遺言の要式性とその諸問題
小田切美紀	離婚後の子の監護（日米比較して）
黒澤幸代	内縁関係における諸問題
竹岡満子	特別受益者の相続分
田中智子	遺産の価値感—遺産分割の正当性—
村上美加	婚姻外の情交関係について

堀内眞一	重婚的内縁の解情と財産分与
石川ゼミナール（日本法制史）	
会见建一	中川区富田町の歴史
足達義和	ジョン万次郎
綾清行	堺市史
伊藤聡	一宮市と織物業
岩佐弘之	岐南町の成立と発展
岡豊彦	キリスト教伝来
金田敏史	北設楽郡の歴史
瀧秀晃	清水次郎長の生涯
中根智人	海軍工廠と豊川市の発展
中村佳作	金子直吉の生涯—鈴木商店番頭—
平林啓久	御嵩町の歴史
細田成男	武田信玄
前田尚重	江南市史
松岡滋	吉田松陰
松谷伸哉	大商人・小佐野賢治

松村直樹 極北の地と一人の日本人
 丸山泰輝 木戸孝允と明治維新
 森上隆則 仁侠の男・田岡一雄
 森部善夫 瑞穂区の誕生と歴史
 安川善奉 城下町大野―その変遷―
 矢野裕克 犬山地方の民俗史
 山村隆一 史料から見た岐阜市

石堂ゼミナール (刑法)

伊藤孝太 ホワイトカラー犯罪について
 稲津満 死刑制度の存廃についての一考察
 稲見和哉 自動車事故と刑事責任
 今井一雄 死刑制度の存廃について
 太田哲雄 交通事故と信頼の原則
 亀山和紀 結果的加重犯についての一考察
 鬼頭秀明 死刑存廃論について
 黒田勇人 正当防衛に関する一考察
 後藤孝有 死刑制度の存廃について

笹島禎人 公害問題と刑事責任
 白木孝則 猥褻文書頒布罪についての一考察
 寺尾信人 死刑制度についての一考察
 永井和久 猥褻概念の改革に関する一考察
 中内誉司 正当防衛と防衛の意思
 西野元 猥褻の概念について
 堀内公明 自動車事故と刑事責任
 牧野尚志 ホワイトカラー犯罪について
 榊真由 家庭と犯罪に関する一考察
 田辺志鶴 精神障害者と保安処分
 村上和子 責任主義についての一考察

市原ゼミナール (商法)

鴨谷昌洋 株券の除権判決の効力について
 貴島篤秀 商号専用権について
 工藤健 株券の除権判決について
 小林正幸 株式会社の取締役の責任について
 澤田剛 会社の政治献金について

鈴木政志 株式会社の発起設立の特色
 滝 伸之 名板貸について
 竹井秀雄 手形行為の表見代理
 竹内 強 手形行為の表見代理と偽造
 田中文浩 商号専用権について
 長井邦宏 商号権に関する諸問題
 林 哲也 株式会社発起設立の特色
 細見敏之 株式会社設立の特色
 松川智郎 株金払込の仮装について
 松山裕志 会社の政治献金について
 宮本勝正 会社の政治献金について
 三芳功史 株券発行前の株式譲渡について
 森 政明 会社の政治献金について
 脇本邦生 堪航能力担保義務
 亀田明弘 株主総会の決議の瑕疵
 吉田樹夫 株主名簿の名義書換について
 太田吉治 会社の政治献金について

伊藤ゼミナール (商法)

石橋恒次 法人格の否認
 内山真一郎 手形の偽造
 大庭隆司 会社の政治献金
 小川勝宏 取締役の報酬
 小川秀夫 裏書の連続
 小木曾 弦 日本社会法史
 岡地雅英 昭和二五年の商法改正について
 北森弘一 手形行為の無権代理
 日下部 毅 会社の能力
 鈴木 浩 取締役・会社間の取引
 寺脇憲治 営業譲渡と総会の決議
 中村晋治 株主総会決議取消の訴
 仁藤伸次 株券発行前の株式譲渡
 平岩 修 名板貸
 松葉太郎 財産引受
 山中真治 取締役の第三者に対する責任
 吉田英樹 自己株式の取得

川合賢哉 商号
布川友秋 株式名簿の名義書換
市川謙二 表見代表取締役

大石ゼミナール (政治思想史)

生田 顕三 ペレストロイカについて
内田 康 ソ連のペレストロイカについて
尾崎 賢洋 造船疑獄の問題性
久保川 悟志 いじめの克服
栗田 睦文 都市における土地問題
近藤 茂 フロンガスの危険性について
坂本 律 ニュー・デール政策について
柴田 高宏 自動速度測定記録装置の問題点
柴山 浩孝 離婚問題について
杉本 良孝 日本国憲法の成立とその問題
鈴木 隆久 都市公害について
瀬戸 浩次 自由民権運動の闘士、内藤魯一
中村 佳正 ナチズムについて

成田 隆之 天皇制の歴史的考察
権藤 道明 ペレストロイカについて
田中 啓道 高度成長と日本社会
小林 正和 自由の意識

岸上ゼミナール (民法)

池田 克 賃貸借における同時履行の抗弁権
伊藤 賢吾 無能力者とその詐術
伊藤 俊希 不動産の譲渡担保と第三者の効力
井上 秀和 土地賃借権の移転と敷金の承継
尾関 雅佳 自動車売買における所有権留保
亀山 憲二 民法第三九五条の短期賃貸借
岸口 定史 無能力者とその詐術
白子 敏久 権利の濫用
瀬戸 博之 瑕疵担保責任と錯誤
滝上 徳明 地方公共団体の長の不法行為
長崎 真也 借家法一条ノ二における正当事由
中本 繁男 一部請求と時効中断

野々山 和義 差止請求について

半野 勇樹 民法第一七七条の第三者の範囲

分田 博都 債権者代位権と無資力要件

堀家 勝己 事情変更の原則

増山 澄人 登記請求権について

松本 隆良 四大公害について

宮崎 勝己 物権変動の時期

小林ゼミナール (民法)

天野 直樹 いじめの民法七一九条への関連性

岩崎 利也 製造物責任について

遠藤 仁 妻は他人か訴訟について

河井 和紀 「事業ノ執行ニ付キ」の範囲

木村 雅美 医療過誤民事裁判

小林 正人 航空機事故の損害賠償について

小島 英樹 カネミ油症控訴審判決について

幸松 賢 瑕疵担保と債務不履行との関係

後藤 泰憲 国家賠償法二条の解釈原理

澁谷 賢二 公害問題の私法的救済

白岩 徹 医師の説明義務と患者の同意

神保 浩之 踏切事故と工作物責任

高橋 直樹 公害問題に関する共同不法行為論

永吉 剛也 後遺症に対する示談の効力

浜田 拓 過失相殺における被害者側の範囲

原田 智彦 公務員の直接責任について

藤田 剛 慰謝料請求権者について

藤村 仁志 大阪国際空港騒音公害訴訟

前川 守 運行供用者責任論

吉田 清隆 学校事故の救済制度と問題点

榎原ゼミナール (民事訴訟法)

岩崎 善明 プログラム著作権について

大坪 実樹 有責配偶者の離婚請求

倉橋 正晃 財産分与と慰謝料との関係

滝本 一寛 不貞行為と損害賠償

竹内 茂喜 釈明権と釈明義務

中川 秀樹	訴訟費用と訴訟救助
長島 弘人	既判力の時間的限界と形成権行使
長谷川 豊和	不貞行為と慰謝料請求
村田 雅紀	既判力の時間的限界について
母谷 雅晴	訴訟と非訟の問題点
森田 崇裕	弁護士報酬制について
山端 洋彰	離婚による財産分与と慰謝料請求
山本 俊英	どうしても原子力発電が必要か？
雪 宜彦	民事調停制度について
横地 高	隣人訴訟と日本人の注意識
渡辺 伊織	親子関係の存在を否定する訴
吉田 幸一	弁護士法違反の訴訟行為の効力
温田 健一	積極的破綻主義の現状と展望
廣瀬 秀樹	国際裁判管轄権について

佐保ゼミナール (比較法)

坂上 俊宏	ペレストロイカ
嶋田 貴司	ペレストロイカの諸問題

荒木 晋二	ペレストロイカ
伊藤 誠	ペレストロイカについて
犬山 安	肖像権
神谷 浩史	婚姻関係における不法行為
菊地 雅之	レーニンとロシア革命
草加 拓弥	ペレストロイカ 経済部門
野沢 一生	ブーニンの亡命とソ連の芸術
長谷川 洋治	ソ連国家組織の歴史と現状

杉江ゼミナール (国際政治)

稲熊 康昌	分断国家・朝鮮
大石 昇	宇宙条約
大屋 豊彦	S DI その戦略と政治
荻田 善行	天皇制の歴史とその役割
塩谷 剛	テロリズムの動向とその対策
柴原 晃	中国の戦略と国防
滝沢 雅彦	次期支援戦闘機をめぐって
賛 秀将	再認識すべし核兵器

古橋元司 石油と原子力の問題点
 山川洋一 自然破壊の現状
 山田雄一 日本の原子力政策
 山本健三 共産主義国ソ連の限界
 山本雅也 核兵器を考える
 鷲野尚行 現在のアフリカ

角田ゼミナール (法哲学)

秋田洋嗣 日本の進路と農政改革
 加藤征児 現代社会と人権問題
 長田宜典 法・倫理そして先端医療
 片岡靖喜 表現の自由をめぐる法的諸問題
 川口彰 法と性について
 小島昭彦 エイズをめぐる法的諸問題
 小鷹一郎 安楽死をめぐる諸問題
 斉藤雅春
 篠原和秀 人間の尊厳への哲学的アプローチ
 千葉慎一郎 天皇制

辻川新介 戦国期における法と町経営
 立松正嗣
 西村大志 エイズと人権・特にプライバシー
 畑崎義忠
 間野嘉将 医療と人権―尊厳死・臓器移植
 丸林茂樹 性をめぐる法と道徳
 渡辺幸信 憲法第九条と自衛隊
 宿利泉 男女雇用機会均等法の諸問題
 藤村幸弘
 村田好明 日本人の意識構造
 田中大作 権利のおこりと考え方
 松田英明

中本ゼミナール (刑事法)

荻野剛 贈収賄罪
 能村哲也 警察法について
 長谷川裕恭 売春防止法について
 安留学 公害罪について

安達 毅	横領罪
池田文昭	正当防衛
石黒 浩	略取誘拐罪
宇井幹修	信賴の原則
大久保英俊	安楽死
小川栄治郎	少年犯罪
各務裕司	横領罪
河村斉和	尊属殺人罪
佐賀正雄	贈収賄罪
坂 徹	自殺と刑法
久田和正	死刑
深世古裕司	死刑
寶野敦紀	警察法について

橋詰ゼミナール (労働法)

安藤友一	公民権行使の保障
伊藤 伸	使用者の安全配慮義務
岩崎一之	改正労働時間制の意義と問題点

岩田和臣	年次有給休暇の現状と将来
江口 誠	労働者の調査協力義務
大坪二郎	解雇と懲戒
大矢文哉	全額払の原則と賃金カット
岡本 明	団体交渉と差し違え条件
柴田一郎	法人格否認の法理と賃金請求
多田勝彦	年次有給休暇の諸問題
田村智志	解雇権の諸問題と労働者保護
土田真佐光	直接払の原則と退職金債権の譲渡
手嶋昭弘	均等法施行後の現状と企業の対策
服部正男	採用内定における諸問題
松榮伸尚	出向
水野英樹	不当労働行為制度上の使用者論
牧 優子	就業規則の法理
増田はずき	女性に対する雇用差別
三村かおり	パートタイマーの労働条件
森 仁美	雇用に於ける女子の保護と平等
秋田和政	整理解雇の法理

檜山ゼミナール (政治史)

尾崎英樹 ミッドウェー海戦敗北の要因―海軍八事の

蹉跌―

織田晴治 南京大虐殺事件の歴史の意味

是澤秀嗣 旧川名村にみる民衆史―川原神社における

金石史料から―

佐藤稔昭 高杉晋作―人物像とその史蹟

上源正樹 山本五十六論の再考―山本信仰批判論とし

て―

鈴木崇文 海上護衛戦論の現代的課題

鈴木晴彦 戦後政治に於る無党派層の構造的研究所―保

守化傾向と政党政治の展望―

田島亮司 三島由紀夫の天皇観

東條英幸 市街化の進展と都市農業―京都市を例とし

て―

豊田泰士 瀬戸大橋近郊都市の活性化問題―岡山県玉

野市を例として―

中尾壽 現代人と元型夢の心理学的検証

中畔幹夫 農協の構造論的研究

西村功 中央競馬会の控除率問題について

西田馨一 鉄道輸送に於ける特急列車の役割

平岩敏行 現代農政における新しい営農形態―長野県

上伊那地域を例として―

福原幸太郎 検定制度下に於ける教科書問題

増原ゼミナール (民法)

荒井浩樹 老親に対する子の扶養義務

今川潤 結婚とは? ―姦通を中心として―

内川武史 離婚の際に知っておきたいこと

大森俊一 特別養子制度の創設にあたって

加藤誠 子に嫡出性を付与するための婚姻

蔵野喜之 非嫡出子の法的地位

東口靖輝 夫婦共同縁組

手島英雄 現代の離婚とその原因

中島薫 有責配偶者離婚請求訴訟認容判決

西村穰 現代の家族問題と家族法

日比野 功一 離婚と未成年子の権利—子の受難—

平川 慎治 離婚原因について

三浦 辰也 家事労働の評価と財産関係

宮本 辰彦 現代の家族

森 昭二 財産分与と慰謝料

柳生 裕也 離婚に関する一考察—離婚原因を中心として—

柳本 雅弘 親権と子の福祉

伊藤 裕子 夫婦別姓をめぐる諸問題

佐々木 直美 特別養子制度の展望

新井田 珠代 離婚後の親の面接交渉権

山崎 和子 明治初年の婚姻法

大野 洋彦 「公教育と親の発言権」

岡崎 孝浩 嫌煙権—ある判決に対する考察—
その名も環境権

金丸 正資 憲法第九条の効力

川原 好智 統治行為における裁判

神沢 康 在日外国人の年金保障の範囲

小寺 康弘 法の下の平等とは

杉本 茂 プライバシー権・F.F.E現象

堤 幸司 人権としての「環境権」

出口 英三 性表現の自由とわいせつ

堂岡 一彦 違憲判決の効力

中尾 匡志 憲法と選挙運動の自由

布川 博康 「プライバシーの権利について」

藤田 光則 情報公開とプライバシー

二橋 謙一 基本的人権保障の基準・限界

本 莊 繁 樹 「プライバシーと表現の自由」

山田 敬三 「知る権利について」

吉田 哲也 『平等権』と『合理的差別』

渡邊 俊之 「表現の自由とその限界」

和 田 治 樹

松本ゼミナール (憲法)

赤松 正純 憲法九条における自衛隊の解釈論

一ノ宮 秀信 国家機密法と人権

井上 雅大 新しい人権、プライバシー権

岩田 卓朗 憲法判断の根拠と方法

- 秦 弘明 憲法が保障する平和の理論
 林 孝和 個人の尊厳とプライバシーの問題
 村瀬 雅之 「思想の自由」の憲法学的考察

丸山ゼミナール (政治学原論)

- 青木 幸徳 原子力発電の安全神話
 青山 秀徳 岐路にたつ食糧管理制度
 小縣 秀明 豊かな国の貧困
 岡田 鉄也 軍縮の過程
 加藤 朋武 コメ市場開放論
 竹本 晋 大気汚染を考える
 竹内 英至 名古屋高速道路
 東 俊行 軍産複合体と軍拡
 三輪 祐三 これからの人口形態について
 村田 進 地価高騰とその対策
 吉村 健太郎 自然環境法と今後の課題

樫木ゼミナール (国際法)

- 伊藤 晴彦 航空犯罪と国家責任
 小田 敦 ベトナム戦争の起源
 飯屋 廣 北方領土の返還運動と米国の影響
 楠原 淳 国際的見地での大津事件の評価
 栗田 英治 憲法第九条と国際法上の自衛権
 小林 崇晃 北方領土とソ連外交
 小林 正博 国家領域
 酒井 宏忠 光華寮訴訟事件
 坂本 敏彦 国際社会に於ける日本
 玉木 明 国際漁業紛争と国際法
 飛松 英明 ベルサイユ体制について
 中村 和人 アフリカの飢餓の原因について
 西村 藤生 自衛権と交戦権について
 畠山 浩成 南アフリカ人種隔離政策
 松井 正幸 ソ連体制の矛盾とその宿命
 吉岡 豊 東京裁判と国家責任
 平子 慎理 安全保障理事会の意義

山岸ゼミナール (行政法)

- | | |
|-------|--------------|
| 岩下善孝 | ダム建設と土地収用 |
| 江田直樹 | 国家賠償法二条 |
| 桶作健 | 地方公務員制度 |
| 小田勝弘 | 琵琶湖富栄養化防止条例 |
| 加藤万寿之 | 建築の法律紛争 |
| 杉岡聖之 | 自動車の一斉検問 |
| 鈴木健吾 | 土地問題 |
| 鈴木英明 | 薬品の被害と国家賠償責任 |
| 高塚訓之 | 自動車事故の諸責任 |
| 高橋康二 | 交通事故と三責任 |
| 永瀬隆司 | 公務員の職務行為の違法性 |
| 那須郁夫 | 公務員の基本的人権 |
| 服部義徳 | 自動車事故 |
| 原田真佐志 | 市民生活と税金 |
| 福田等 | 行政による環境破壊 |
| 洲上真砂樹 | 義務づけ訴訟 |
| 水上敦裕 | 相続税 |

- | | |
|------|--------------|
| 水谷佳典 | 行政代執行 |
| 村上仁敏 | 現代の公共交通 |
| 山神一文 | 交通事故の判例 |
| 山下巧 | 土地収用と代執行 |
| 山田久史 | 騒音公害 |
| 渡辺賢一 | マスコミ判例 |
| 山田敏之 | マスコミをめぐる時の問題 |